

令和3年4月23日
保育部 保育課

区立保育園で行われた不適切な保育（虐待行為）に関する
外部有識者による検討会報告および今後の区の取り組みについて

1 主旨

令和3年2月12日に本委員会に報告した区立保育園における虐待行為について、令和2年12月から外部有識者による「区立保育園における保育のあり方検討会」において検証等を行い、3月に報告を受けた。また、令和2年12月より、全区立保育園保護者に子どもの人権に関するアンケートを実施し、その結果がまとまったので、それぞれの内容とともに、今後の区の取り組みについて報告する。

2 区立保育園における保育のあり方検討会における検討について

(1) 検証結果（課題）

当該保育士について

当該保育園の対応について

- 1 世田谷区（区立保育園全般）の対応について
- 2 世田谷区（区保育課等）の対応について

(2) 再発防止の観点からの提言

保育士としての能力と適性の確認とそれに基づく指導方法の確立

園長職の職員指導育成力の向上と組織マネジメント力の強化

「子どもの権利・人権」を守る保育の実践

保育課、園長会、地域園長会、各園の連携支援体制の構築

職員採用試験や人事考課制度（人事評価、人事異動）への要望

(3) 報告書

別添のとおり。

3 「子どもの人権」に関するアンケート調査について

(1) 実施目的

区立保育園において、実際に「子どもの人権」に配慮した保育が行われているかどうかについて、保護者の声から確認すること。

(2) 実施方法

毎年、区立保育園全園を対象に実施している「区立保育園利用者アンケート」の設問の一部に「子どもの人権」に関する3項目の設問を設定した。

（別紙1-1、1-2 「 保育園利用者アンケート」）

(3) 実施結果

設問	職員は「子どもの人権」に配慮しながら保育・運営にあたっていますか。			お子さんが保育士の不適切な対応について、保護者の方に話したことがありますか。			保護者の方が保育士の不適切な対応ではないか、感じた時がありますか。		
	はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ
回答者数	2,109	148	10	47	89	2,124	100	162	1,988
該当園数	47	44	8	29	39	47	41	43	47

複数回答あり（総回答者数2,266人、調査対象47園）

なお、「子どもの人権」に配慮していないと思われる回答のあった園については、園長が事実確認及び保育士への指導を実施済と保育課へ報告を受けている。

(4) 結果の公表

「区立保育園利用者アンケート」の結果として、区ホームページ（区立保育園の質の向上への取り組み）へ掲載する。

4 当面の重点取り組み

検討会の提言を受け、今後再発防止へ向けて取り組みを進めていくが、特に次の点について、早急に重点的に取り組んでいく。

(1) 保育士としての能力と適性の確認、適性を考慮した人事への対応

保育士としての能力と適性の確認

- ・条件付採用期間において、新規採用職員が勤務している園に、他園の園長が赴き、複数の目で適性を評価する仕組みをつくる。

適性を考慮した人事への対応

- ・子どもの人権侵害につながると危惧される場合には、他の部署への配置転換等を含め、迅速に対応する。

(2) 「子どもの権利・人権」を守る保育の実践

子どもの人権チェックシートの作成、活用（別紙2 「子どもの人権チェックシート（案）」）

- ・今回の全園アンケートを基に「世田谷区保育の質ガイドライン」項目と紐づけて作成する「子どもの人権チェックシート」により、全園で一斉にセルフチェックを実施する。更に各園において、自分自身や職場内の保育の気づきにつなげ、結果を共有しながら園内研修に活用していく。

人権研修の充実

- ・令和2年11月26日に区立保育園全園園長を対象とした「子どもの人権研修」を実施するとともに、DVDを全園に配布して全職員に対する園内研修を実施した。
- ・今後も継続して、全職員が受講できるようにオンラインで実施し、また、経験年数に応じた内容を取り入れて、年に複数回実施する。

(3) 保育課、園長会、地域園長会、各園の連携支援体制の構築

園長会、地域園長会の取り組み強化

- ・園長会における「子どもの人権PT」により、「子どもの人権チェックシート」の見直し等を継続して実施することを通して、全園長が人権に関する理解を深める。
- ・地域園長会や自主園長会に保育課職員が参加し、支援、指導を行う。また、運営上の課題への意見交換を活性化し、園長の組織マネジメントを支援する。

保育課による連携支援体制の強化

- ・巡回指導記録を迅速に各園へフィードバックし、改善の内容を確認する。
- ・「区立保育園における報告・相談・取り組みフローチャート」と主な相談先を保育園の事務所と休憩室に掲示し、各保育士が直接、保育課へ相談できることを確実に伝える。

保育園利用者アンケート

世田谷区立 保育園

世田谷区の区立保育園では、子どもたちのためにより良い保育園となるよう、自己評価に取り組んでいます。つきましては、日ごろの保育内容や職員の対応、保護者の皆様との連携について、ご意見をお伺いしたく、全園でアンケートを実施いたします。 保育園の保護者の皆様には既に第三者評価のご協力を頂きましたが、区立保育園の運営の見直しに反映させていただきたく、再度ご協力をお願い致します。

『子どもの人権』について			
職員は「子どもの人権」について、配慮をしながら保育・運営にあたっていますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
お子さんが保育士の不適切な対応について、保護者の方に話したことがありますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
「はい」とお答えいただいた方は、どのような内容かご記入ください			
保護者の方が保育士の不適切な対応ではないか、と感じた時や事がありましたか	はい	どちらとも いえない	いいえ
「はい」とお答えいただいた方は、どのような内容かご記入ください			
保育園の独自の取り組みについてお聞きします。			
	はい	どちらとも いえない	いいえ
	はい	どちらとも いえない	いいえ
総合的な感想についてお聞きします。			
保育園を総合的に見て、どのように感じていらっしゃいますか			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> 大変満足 満足 どちらとも いえない 不満 大変不満 </div>			
保育園がより良い保育園になるためのご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。			

ありがとうございました。

回答期限・・・ 月 日（ 曜日）

（例） 職員室前の回答用紙回収ボックスに入れてください。
など、回収方法を記入する。

保護者の皆様へ

保育園利用者アンケート

世田谷区立 保育園

世田谷区立保育園では、子どもたちのためにより良い保育園となるよう、自己評価に取り組んでいます。

現在、第三者評価を3年に1回受審していますが、第三者評価受審年度以外にも、保護者の皆様のニーズをお伺いし、今後の保育に反映させていきたいと考えております。

つきましては、日ごろの保育内容や職員の対応、保護者の皆様との連携について、ご意見をお伺いしたく、アンケートを実施いたしますので、ご協力お願いいたします。

保育園の運営や日々の保育についておうかがいします。			
食事（給食）・おやつなどのメニューは子どもの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
散歩や外遊びの機会は十分で、内容が工夫されたものになっていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
疾病や事故などで急に対応が必要となったとき、よく話を聞き、利用時間の変更など、適切に対応してくれると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子どもがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は十分だと思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子どもが安全に過ごせるよう、保育環境が十分に配慮されていますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
保育園での子どもの様子を見る機会があり、保護者が参加しやすい設定となっていますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話をしたり相談することはできますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
保護者が子育ての中で大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢があると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
保育園内は清潔に保たれ、子どもの手の届く高さでおもちゃや絵本が十分な量で整理され配置されていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守ってくれていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子ども同士の自我のぶつかりあい（けんかや言い争い）があった場合の職員の対応は適切だと思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
職員は子どもの気持ちを受け止め、大切にしながら対応してくれていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子どもの保育内容（保育の意図、ねらいなど）に関する説明は、わかりやすいと思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
職員の言葉遣いや態度、服装などは適切で、礼儀正しく丁寧に対応していると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子どもの保育に関わる要望や意見を伝えたとき、職員はよく話を聞き、誠実に答える姿勢を持っていますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
子どもの保育に関わる要望や意見は、保護者と職員で情報を共有し、より良い保育園となるよう活かされていると思いますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
要望や意見があったとき、第三者委員（保育園以外の苦情解決相談員）などにも相談できることを伝えていますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ
世田谷区は、保育の質ガイドライン「なるほど！せたがやのほいく～遊びと学びがいっぱい～」を配布しています。保育の質ガイドラインがあることを知っていますか。	はい	どちらとも いえなし	いいえ

『子どもの人権』について・ 保育園の独自の取り組みについてお聞きします。				
職員は「子どもの人権」について、配慮をしながら保育・運営にあたっていますか	はい	どちらとも	いいえ	いえなし
お子さんが保育士の不適切な対応について、保護者の方に話したことがありますか	はい	どちらとも	いいえ	いえなし
「はい」とお答えいただいた方は、どのような内容かご記入ください				
保護者の方が保育士の不適切な対応ではないか、と感じた時や事がありましたか	はい	どちらとも	いいえ	いえなし
「はい」とお答えいただいた方は、どのような内容かご記入ください				
	はい	どちらとも	いいえ	いえなし
	はい	どちらとも	いいえ	いえなし
総合的な感想についてお聞きします。				
保育園を総合的に見て、どのように感じていらっしゃいますか				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> 大変満足 満足 どちらともいえない 不満 大変不満 </div>				
保育園がより良い保育園になるためのご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。				

ありがとうございました。

回答期限・・・ 月 日（ 曜日）
 （例） 職員室前の回答用紙回収ボックスに入れてください。
 など、回収方法を記入する。

子どもの人権チェックシート（案）

- ・子どもは権利の主体として最大限尊重される必要があります。
- ・子どもが何を言おうとしているのか、知ろうとするのが、あなたの役割です。
- ・さあ、日々の保育の振り返りをこのチェックシートで行いましょう。
- ・このチェックシートは、毎年、園長会において見直し、更新します。

項目	『世田谷区保育の質ガイドライン』項目	利用者アンケートから抜粋事例	自己チェック	園での保育 チェック
子どもの気持ち に寄り添って いますか？	子どもの権利 （子どもが安心と自信をもって生活ができる保育を行います。）			
	・「子どもが何を求めているか」を知ろうとしている。	・子どもが頑張っているのに、保育者が読み進めてしまうことがある。		
	・子どもの権利について職員全体で確認し十分に配慮している。			
	・気持ちを傷つけるような職員の言動、保育放棄、無視、差別、虐待を禁止する職員行動規範を定めている。	・否定的な身体の特徴を述べるのは控えてほしい。		
	・むやみに静止や禁止する。	・お昼寝中のトイレを「今は待って」と止められてしまった。		
	・子どもの言葉や身振りなどを無視する。	・園児が保育者に声をかけているのに、園児に対して十分な声掛けがなかった。		
	・職員は一人ひとりの子どもの行動や欲求にわかりやすい言葉で穏やかに個々の子どもに語りかけ応答的に関わっている。	・「ダメ」などの否定的な言葉ではなく、穏やかに子どもにもわかりやすい言葉をかけてほしかった。		
	・一人ひとりの子どもの生活習慣や文化のなどの違いを知り、それを認め合う心を育てよう努める。	・右利き左利き等 『右で持たないと』って言われた。		
	人材 （子どもの発達と成長を理解した、保育や援助を行います。）			
	・倫理観、人間性、保育施設職員としての責任感を持ち自覚をもって保育に従事している。	・お昼寝の時に、寝がそうとして、頭をなでられたのがイヤだった。		
保護者の気持ち に寄り添って いますか？	子どもの権利 （子どもが安心と自信をもって生活ができる保育を行います。）			
	・「子どもが何を求めているか」を知ろうとしている。	・他の子との関りの場面で我が子が一方的に注意された。		
	・気持ちを傷つけるような職員の言動、保育放棄、無視、差別、虐待を禁止する職員行動規範を定めている。	・泣いていた子に、なぜ泣いているのかも考えずに、注意した。		
	・職員は一人ひとりの子どもの行動や欲求にわかりやすいことばで穏やかに個々の子どもに語りかけ応答的に関わっている。			
	・一人ひとりの子どもの生活習慣や文化のなどの違いを知り、それを認め合う心を育てよう努めている。	・「子どもが損をするから直したほうがいい。」という言い方をされた。		
	人材 （子どもの発達と成長を理解した、保育や援助を行います。）			
	・倫理観、人間性、保育施設職員としての責任感を持ち自覚をもって保育に従事している。	・持参したはずの衣類が無いと伝えた時に、確認してくれなかった。		
	保育内容 （明日の保育のために、保育を計画し実践し振り返ります。）			
	・配慮を要する子どもの支援について、保育所全体で認識し、必要に応じて個別指導計画を立てて保育を実践し、家庭や専門機関と連携し適切に対応している。	・ ちゃんだけ出来ない等の話をされた。		
	保護者支援・地域の子育て支援 （保護者・地域と共に保育を行っていきます。）			
・保護者懇談会や施設だより、クラスだより、保健だより等を活用し、保育方針や日々の保育の意図、子どもの保育施設での生活ぶり、また職員の状況等を家庭に紹介している。	・他の子から足を蹴られそうになったり、突かれているのを見て話した。「皆仲良くしたいからそうするのだ」と説明を受けた。もう少し丁寧に説明してほしい。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・登降時間の会話や連絡帳等の日々のコミュニケーションや行事等あらゆる機会を通じて保育の意図、子どもの状況等を保護者と綿密に連絡を取り合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰り際、遊びたかったもので遊べず泣きだした子に「家でいつもそうやって泣くでしょ」と言っていた。親の子育てに対して否定されたような気持ちになった。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の話を傾聴し誠実に答える姿勢を持ち、保護者と職員相互で子どもの保育に関わる課題を共有し、保育実践や園運営に活かす工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的に子どもがぐずる理由を決めつけられた。 		
送迎時、保護者とのコミュニケーションはとれていますか？	人材 （子どもの発達と成長を理解した、保育や援助を行います。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添い、保護者と共に子どもの成長を喜び、子どもの発達を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしている時や保護者が声をかけていても気付いてくれなかった。 		
	安全管理 （安心・安全のための大事な一歩です。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなけがであっても、状況把握をし、保護者に報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものケガの報告について、丁寧な説明がなかった。 		
保護者とのコミュニケーションはとれていますか？	安全管理 （安心・安全のための大事な一歩です。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の子どもの様子や保育における安全管理等について、子どもの行動を予測し、職員同士がアイコンタクトやお互いに声をかけあうなどのコミュニケーションにより組織的に保育が実践されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなケガや痣ができた時「見ていなかった」ということがある。 		
	保護者支援・地域の子育て支援 （保護者・地域と共に保育を行っていきます。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・登降時間の会話や連絡帳などの日々のコミュニケーションや行事等あらゆる機会を通じて保育の意図、子どもの状況などを保護者と綿密に連絡を取り合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転んで傷ができて、その説明がなかった。 		
保育中の対応は、大丈夫ですか？	子どもの権利 （子どもが安心と自信をもって生活ができる保育を行います。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが何を求めているか」を知ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達から「ブス」「嫌い」と言われ先生に言ったのに、話を流され相手に注意や話す等の対応が見られない。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の気持ちを傷つけるような職員の言動・保育放棄・虐待・無視・差別等を禁止する職員行動規範等を定めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに物を渡す時に粗雑だった。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な大きな声で対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で園児を注意していた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は一人ひとりの子どもの行動や欲求にわかりやすいことばで穏やかに個々の子どもに語りかけ応答的に関わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰り際、遊びたかったのに遊べず泣き出した子に「家でいつもそうやって泣くでしょ」と言っていた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの生活習慣や文化のなどの違いを知り、それを認め合う心を育てよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス時、プレゼントの内容など一人ずつ発表をし、クラスのホワイトボードに書かれていた。多様性に配慮した保育をしてほしい。 		
	人材 （子どもの発達と成長を理解した、保育や援助を行います。）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理観、人間性、保育施設職員としての責任感を持ち自覚をもって保育に従事している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の言葉遣いが雑であったり、仏頂面で言われたりして、不信感を抱いた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと関わることを喜び、子どもと一緒に楽しむことができ、積極的に保育に従事している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが一生懸命話かけているのに、先生は忙しそうにして、話を聞かなかった。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添い、保護者と共に子どもの成長を喜び、子どもの発達を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが孤立している場面でも対応していなかった。保育士により、対応の差が大きい。 		
生活と遊びの中の教育 （生活と遊びの中で、子どもの生涯にわたる生きる力の基礎を培います。）				
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの置かれている状況を把握し、ありのままの姿を理解と見通しを持って受け入れ、子どもが安定感と信頼感を持って、自分らしさを発揮し、行動できるよう援助している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が苦手な子に対して、挨拶を強要していた。 			